

## 第1回蔵王町立中学校統合準備委員会 会議録

日 時：令和3年10月25日（月）

午後7時00分～8時29分

会 場：ふるさと文化会館 多目的ホール

出席者： 委 員 30名（欠席2名）

事務局 7名

※出席者の所属，氏名は別紙名簿のとおり

1. 開 会 （進行⇒事務局：福地 教育総務課長）

2. 委嘱状交付

3. あいさつ（教育長）

4. 出席委員及び事務局職員の紹介 自己紹介

5. これまでの経過と委員会設置要綱の説明

資料2の1ページにより事務局より説明

6. 委員長・副委員長選任

審査委員会設置要綱に基づき互選により選出

自薦，他薦，意見とも無いため，事務局案提示

委員長：円小P会長 村上委員 副委員長：平小P会長 芦立委員

選出後委員長及び副委員長より就任あいさつ

7. 進捗状況の説明，意見交換 （進行⇒事務局：福地 教育総務課長）

（1）蔵王町立統合中学校の建設について〈室長より説明〉

基本的な考え方や現在の進捗状況について，本来は資料2・資料4・資料5を説明する必要があるが，かなりのボリュームになるため，簡潔にまとめた資料3を見

ながら、そのほかの資料は必要なページだけ抜粋して説明

## (2) 質疑応答, 意見交換

(氏名)	(概要)
N委員	: 1点質問します。資料3のうち「2 設置する施設」についてだが、遠刈田幼稚園の保護者の中には、食に関して興味がある方が多い。土地利用計画図の中に給食センター予定地とあるが、給食センターについて今までに話し合いが行われていたのか、また、計画の資料等があれば勉強のため教えてほしい。
文谷教育長	: 給食センターは昭和60年に建設し、36年が経過している。アレルギー食に対応できないなど、前の基準で設置されたものが稼働しており、修理等も毎年結構かかっている。本来であれば給食センターも建て替える必要はあるが、今のところ具体的な建築計画は無い。給食センターを建て替える場合、現在の施設を稼働したままで整備する必要があるため、新たな用地を確保する必要がある。そのため、今回の中学校用地は広く確保していることから、そこに給食センター用地を確保しておき、良い時機があればそこに建築できれば良いのではとの計画である。
福地課長	: 資料2の25ページの土地利用計画図の左上、ここでは左上ですが、給食センターの予定地として、敷地は3,000㎡、法面等を含めて3,847㎡ということで、用地だけ確保している。今の施設の老朽化、給食に対する子どもたちの状況等を見ながら進めていく。したがって、今回の統合中学校の事業とは別に進めるということで、時機を見てということである。本当は開校と一緒にできれば配送等の費用削減になり、理想ではあると思うが、事業費の問題やどのような施設がよいか検討の問題もあることから、今後の進捗しだいである。もし積極的な意見があるときは、この準備委員会からも声をあげれば、教育委員会として検討させていただく。

(氏名)

(概

要)

R委員 : ハード面での工程表は示されているが、ソフト面の進め方はどうなるのか。

福地課長 : こちらで検討した資料はあるが、本日は用意していない。この委員会は今年度もう1回くらいは開催するが、各部会に分かれての検討は令和4年度から始める。その前に設計会社の選定が来月行われ、それが議会で認められた後、その報告を兼ねてお披露目するために委員会を開催することから、その際に各部会の細かいスケジュールを示したい。それまでは、自分がどの部会を希望するかなど考えてきてほしい。

文谷教育長 : 実際、設計の段階に入ってくると皆さんの声を聴いて変更するというのはできなくなる。現在は、これまでに検討してきたことをまとめたものを基に業者からは案を出してもらっている段階である。この準備委員会には進捗状況をかならずお知らせしていく。そのほか、教育委員会や議会に報告をしていくが、必要に応じて地域の皆さんの声が必要であればそうしたものを開いていくということを考えている。

J委員 : プールのことで話を聞きたい。中学校のプールの授業時間は少ない、夏休みの開放もしないとのことだが、私が中学生の時は、夏休みは開放していたと記憶がある。B&Gのプールを使うというのはすごくいいことだと思う。使える施設は活用していき、その分費用を削っていくのはいいと思う。現在、中学校のプールの授業時数はどのくらいあるのか、中学校の先生方にお聞きしたい。

X委員 : 円田中学校のプールはすでに使えない状況である。計画としては、B&Gに移動して授業を行うというのをここ数年やっているが、昨年度と今年度はコロナウイルスの影響から、プールの授業は実施していない。

文谷教育長 : 遠刈田中学校も同じである。宮中学校だけは修繕できたため、現在使用している。また、B&Gのプールは学校が使用することになると、補助が大きくなる。そういったことも見据えて、そちらを充実させた方がよい。

(氏名)

(概

要)

プールへの送迎にはスクールバスを使うことから、それで対応してもよいと考えていた。

Q委員 : 説明の中の生徒数の推移をみて感じたことだが、今後このように生徒数が減り続けたときに、これからは小学校の建物も考えていかなければならないと思う。この校舎は小中一貫校にできるような校舎であるかどうか。女川町では1年生から9年生まででやっているが、この人数を考えたときに、この先小学校と中学校が一緒になる可能性はあるのかどうか。そして、そのようなことも踏まえた校舎づくりをするのかどうか。

福地課長 : 令和9年度の開校時の生徒数は239名で令和14年には188名になるということである。現在、進めているのは239名を収容できる教室の数や大きさで、中学校の設備で考えている。小学校については、今の計画では令和9年の開校までに、現在の5校をどうするか計画を立てるのが今決まっていることである。この準備委員会とは別の組織になるかと思うが、今後小学校の在り方について、5校を維持するのがいいのか、幼稚園のような3校にするのがいいのか、中学校のような1校にするのがいいのかは、今後、住民、教育関係の皆さんの意見を聞きながら、検討委員会というようなところに教育委員会が諮問して、そこで検討して答申を出す、その答申の具体化に向けて計画を作って進めるというのが青写真である。

今すぐここで、統合中学校を利用して一貫校にするというようなことはまだ全然決まっていないということである。今後の、子どもの数の推移などもあることから、町民のみなさんと一緒に考えていきたい。その際には検討委員会と重複するかもしれないが、その委員からの発言で決めていきたい。

S委員 : この推移だと、9年に開校して14年には人口がかなり減ると、県知事も宮城県は人口がこのように減ると言っている。これからの国際社会での

(氏名)

(概

要)

まちづくりとして、本当に老人の町、日本になってしまうのかという心配もある。設備は6・3制小学校と中学校、私は6・3・3制小学校、中学校、高校、そして地域発展、良い先生方を呼んでスポーツなどによって蔵王町の光を表すような文教関係をしてほしいと思っている。ただ、今のままで時間を過ごしているんだというようなシミュレーションである。人数は減っていく。だからこうなる。ではなく、まちづくりと一緒に、未来のまちづくりというものを考えるべきではないかと思う。小学校が老朽化しつつある。給食センターが老朽化しつつあるから予定としてあるということではなく、地域の人口を増やしていくんだ、だからどうしていくんだ、別荘はどうするんだ、だったら工場を造るとか、大学を持ってくるとか、幅広い大きな懐、まちづくりにそういう話はないのか。

文谷教育長 : 区長の言うとおりでと思う。町としてもいろいろな施策を行う中で、検討して、それをどうすればいいのかということについて探しているところである。町としてもこれから先どうすればいいのかということについて考えている。

中学校ができることで、いろいろな方が学校の周りに住むということも考えている。高校との連携ということもあり、蔵王高校がある。蔵王高校は現在すごく積極的で、地域あるいはございんホールの図書館など子どもたちは多く関わりを持って、中学校とも関わりを持って、積極的に進めていて、町のために何ができるか。現在、高校が企画しているのは、町の施設とタイアップして、防災や観光であるとかそういったことに高校生としても提案したいということで一生懸命やっている。そういったものが町の力になっていくと思っている。

S委員 : 参加者名簿を見ると、校長先生方はほとんど町外出身である。先生方は1年などで異動になるかわからない、この委員会から抜けるかわからないが、積極的に地域、町のために意見を言っていただくきっかけを作っていたきたい。

(氏名)

(概

要)

福地課長 : 町長の議会3月会議での施政方針でも、統合中学校は町の一大事業だと位置付けて進めている。町は一丸となって進めている。

F‘委員 : 策定委員会の際に、町民へ策定委員会だよりのようなものでお知らせしていたが、今回、準備委員会の進捗状況等は町民に示すようなことは考えているのか。

福地課長 : 前は、統合を考えるニュースとして全戸配布で配っていた。今回も大変重要な準備委員会であることから、経過については同じような形で町民の皆さんにお知らせしていく。全戸配布がいいのか広報に入れ込むのがいいのかは別としてお知らせしていく。

F‘委員 : 準備委員会だけで進めてしまうと、町民、特に統合中学校に入学する小学校の保護者にはしっかり伝えていかなければならない。

もう一点。いろいろ部会があり、その中で制服や運動着を決められている。制服メーカーは数多くあるが、その時は業者が部会に入ってデザインや制服の種類を提案するときはあるのか。

福地課長 : 業者を呼んでプレゼンテーションというのは今のところ考えていない。サンプルをもらってお披露目する。例えば、こういった方法がいい、こういったデザインにしてほしいというのはあると思うが、業者の売り込みというのは考えていない。

福地課長 : 人口減という話があったことから、情報提供する。認定こども園設置検討委員会で示されている数字では、今の5歳児は町内に80名いる。しかし、令和3年度4月から来年3月までのうち10月までに生まれた子どもの数とこれから生まれる子どもの数は、たった40名です。5年間で半減している。このことも踏まえて認定こども園設置検討委員会では幼児教育の在り方、あるいは統合中学校準備委員会でも将来の中学校の在り方も含めながら皆さんと考えていきたい。

福地課長 : その他無ければ質問を打ち切る。

## 8. その他

次回以降の予定について、口頭で説明。次回は12月17日の予定。

## 9. 閉会 (福地課長あいさつ)